

平成 30 年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日 時: 2018 年 7 月 24 日(火) 14:00~17:20
 場 所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス (演習室 406)
 テーマ: がん薬物治療の現在: 乳がん
 講 師: 中山 貴寛先生(大阪国際がんセンター乳腺・内分泌外科 主任部長)
 受講者: 9 名
 アンケート回収 8 名 (回収率 89%)
 主 催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療
 人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 内布敦子



<概要>

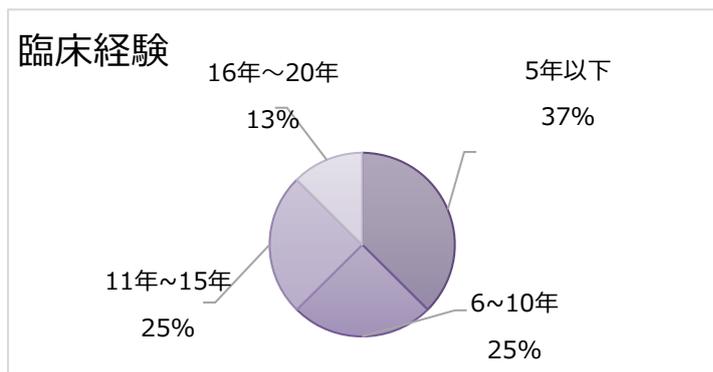
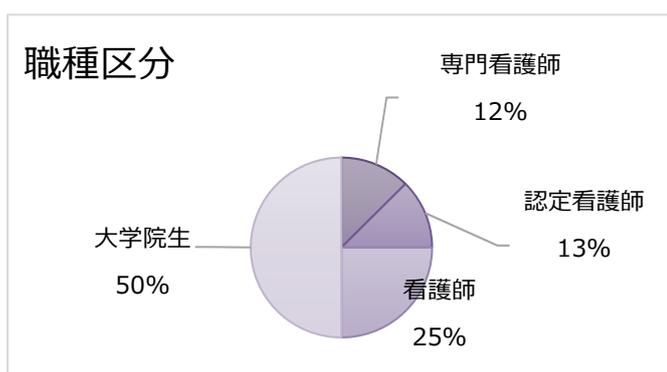
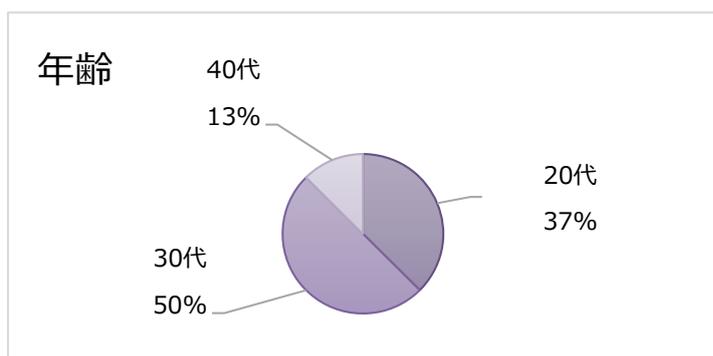
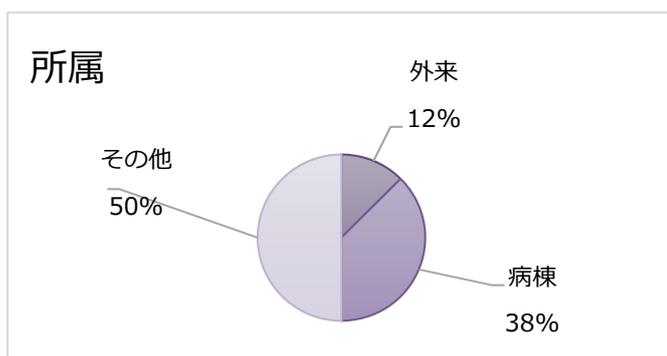
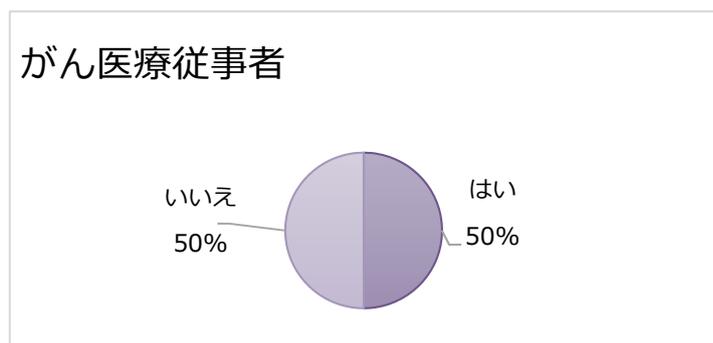
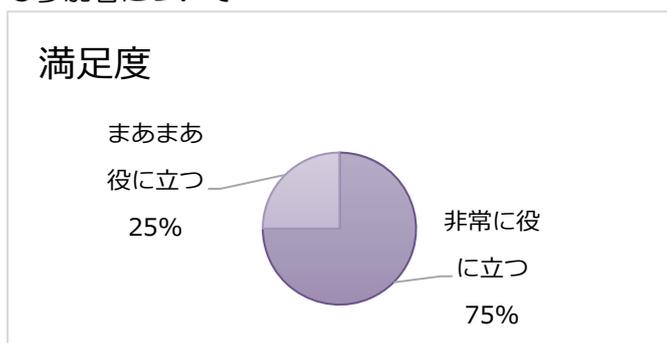
大阪国際がんセンター乳腺・内分泌外科で主任部長として活躍されているの中山 貴寛先生から、乳がんの基礎知識から最新の乳がん治療方法、乳がん治療を取り巻く問題、大阪国際がんセンターでの取り組み例なども交えて幅広くお話をお伺いしました。

中でも、日本乳癌学会 乳癌診療ガイドライン 2018 年度版の内容、薬物療法(化学療法、分子標的治療)、転移再発乳癌の治療、がん治療における副作用について詳しくご説明いただき、がん医療にかかわる際の看護師の役割についても改めて考える良い機会となりました。

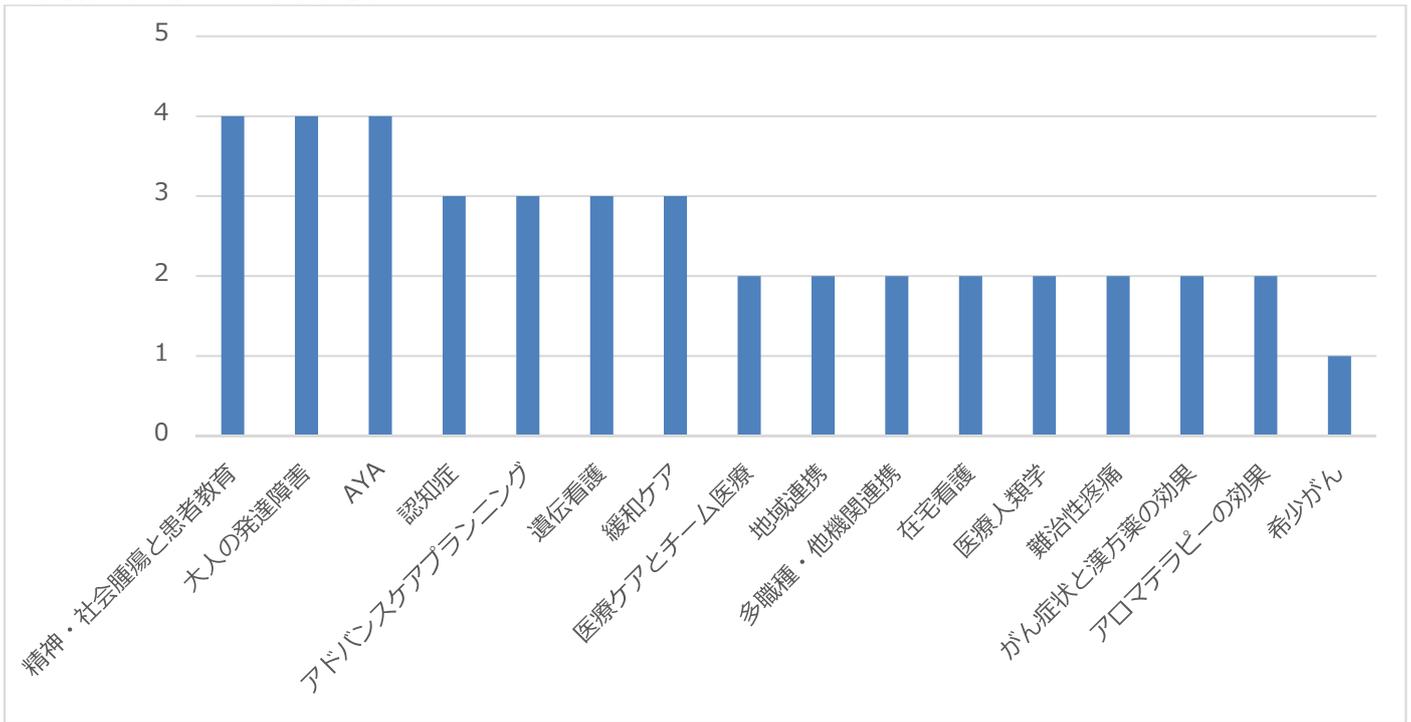
がん治療に関わる看護師の参加も半数を占め、日ごろ業務に携わる中での具体的な事例や質問に対して、そのひとつひとつに丁寧にお答えいただけて、今後の看護に向けての貴重なヒントも得ることができました。

<アンケート結果>

●参加者について



●今後、セミナーに期待するテーマ



●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- ・ 乳癌の基本的知識から再発治療まで幅広く学べたと思います。遺伝子レベルの話聞く機会が今まであまりなかったので、教えていただけ良かったです。頭部冷却で脱毛が防げる話に驚きました。近い将来、実際に使用できるようになればいいなと思いました。
- ・ 治療が複雑化、高度化していく中で、いかに患者さんに病気や治療の知識を理解してもらって、意思決定をサポートしていくのかについてすごく考えさせられました。
- ・ がんの治療は分子標的治療など新しい研究によるエビデンスをもとに変化しており、遺伝子検査など新しい検査や治療があることで、看護も意思決定支援など医療の変化に応じて行う必要があると感じた
- ・ 乳がん治療の多様性を改めて感じました。当院の先生方がどこまで患者や家族に説明できているのかも気になりました。患者さんも勉強されていると思うので治療にかかわるスタッフも常に勉強していく必要があると思いました。
- ・ 新薬も増え、副作用のマネジメント方法も進化していて、年々変化があることを実感した。Ns と Dr、多職種が協力して症状マネジメントしていけるといいなと思った。
- ・ 最新の治療について、エビデンスを踏まえてご説明いただき、よくわかりました。
- ・ 乳がん治療の基礎知識、最近の研究動向、遺伝にかかわることも聞かせていただいて勉強になりました。1つ1つの質問にも丁寧に答えていただいてありがとうございました。
- ・ 乳腺の化学療法に関わることになり治療選択の難しさ、アピアランス、妊孕性、遺伝性のことなど、幅広い問題を改めて実感し、もっと1つ1つを学びたいと感じていましたが、今回のセミナーでそれらの多く問題にヒントを頂けるものだったり、考えさせて頂けたりする内容でした。また、患者さんのために何が出来るか考えていきたいと思いました。ありがとうございました。



▼がん医療について、今、最も強く感じている課題をお書きください。

- ・ 遺伝子検査、緩和ケア
- ・ 急性期病院の看護師の業務が増え、稼働率が上がり、在院日数がどんどん少なくなっていく中で、看護師が疲弊して「人」に関心が向かなくなってきたこと、がんの特化していませんが…
- ・ 高齢化や家族の協力が得られにくい現代で、本人も望まない治療を家族が希望されることがあります。その結果 QOL が下がったり、OPE 後の予後が悪く亡くなられたりする方などもおり悩むこともあります。
- ・ 生存率の向上に伴うがん患者の高齢化と療養場所の在宅移行。病院外でも専門的ながん看護を受け続けるにはどうしたらいいか。
- ・ AYA 世代のがん患者様への看護。就労や妊孕性など。
- ・ 遺伝に関することなど、今後ますます明らかになってくることに対しての患者さんへの正しい情報提供などのサポート
- ・ 治療選択、対象の幅がどんどん広がっていく中で意思決定の困難さやそれにかけるエネルギーは必要で医療者のマンパワーは絶対必要

▼その他、何かご意見・ご感想があればお聞かせ下さい。

- ・ 最先端の話を聞けてとても勉強になったので、また機会があればセミナーに参加したいと思いました。
- ・ すごく勉強になりました。ありがとうございました。